

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

| | | | | | | |
|--------------------------|--|---|---|---------------|-------|-------|
| 事業名 | 一般国道248号 関バイパス | | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 岐阜県 |
| 起終点 | 自：岐阜県関市西田原 至：岐阜県関市倉知 | | | | 延長 | 5.3km |
| 事業概要 | 一般国道248号は愛知県蒲郡市を起点とし、岐阜県岐阜市に至る延長約9.6kmの幹線道路である。関バイパスは県南部の主要都市間の地域連携促進及び関市街地の交通混雑の緩和を目的とした5.3kmの4車線道路である。 | | | | | |
| H6年度事業化 | S43年度都市計画決定 | H7年度用地着手 | H8年度工事着手 | | | |
| 全体事業費 | 130億円 | 事業進捗率 | 73% | 供用済延長 | 0.9km | |
| 計画交通量 | 20,900台/日 | | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C： (事業全体) 12.8 (残事業) 27.5 | 総費用：(残事業)/(事業全体) 35 / 76億円 事業費：30/70億円 維持管理費：5/5億円 | 総便益：(残事業)/(事業全体) 964 / 964億円 (走行時間短縮便益：816/816億円) (走行費用減少便益：117/117億円) (交通事故減少便益：31/31億円) | 基準年： 平成15年 | | |
| 事業の効果等 | ・国土・地域ネットワークの構築（当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短距離で連絡する） ・個性ある地域の形成（地域連携プロジェクト（中濃地方拠点都市）を支援する） 他2項目に該当 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | 一般国道248号は県南部の都市を結ぶ主要幹線道路として、沿道地域の産業経済及び文化の向上に大きな役割を果たしており、関市をはじめとする関係4市9町の首長で構成される国道248号バイパス線新設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | 周辺の道路整備及び宅地開発による交通量の増加に伴い、本バイパスの必要性は益々増大している。 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | 用地買収はほぼ完了し、工事促進中である。現在までに関インター側の0.9kmを部分供用している。 | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | 都市部での事業であるため用地買収に時間を要したが、今後は終点側より順次工事を進め早期完成を目指す。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | 構造物形式の見直し（橋梁 ボックスなど）によりコスト縮減を図っている。また、法面植栽など環境にも配慮した計画としている。 | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | | |
| 事業概要図 | <p style="text-align: center;">関バイパス L=5.3km</p> <p>Map details: The map shows the bypass route from Nishida (西田原) to Kurachi (倉知). Key features include: 5 bridges (5号橋, 4号橋, 3号橋, 倉知1号橋, 倉知2号橋), existing roads (関1・C, 江崎町), and project areas (倉知団地). A section of 0.9km is marked as '供用済' (already in use). A legend indicates: 供用中 (solid black), 事業中 (dotted), 再評価箇所 (hatched), うち供用中 (diagonal lines).</p> | | | | | |

事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。